

■メンバー活動報告

氏名	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
山田 孝	センター長 農学研究院・教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法
井上 京	農学研究院・教授	農業土木学	低平地、特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
佐々木貴信	農学研究院・教授	木材工学	災害発生時の倒伏木等の利活用に関する研究
笠井美青	農学研究院・准教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
厚井高志	副センター長 CNHR・准教授	砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における水文過程および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
萩原 亨	工学研究院・教授	交通工学	道路における暴風雪災害を防ぐため、CCTVカメラで補足できない区間や路線の視界を車載カメラから評価する技術を開発している。道路管理および他車への情報提供することを目的としている。
永田晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発(本年度中にプロトタイプモデルの完成を目指しています)
江丸貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・制御工学	・大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボスタSLAM ・港湾の維持管理を目的としたGNSSトラッカーの開発
中嶋唯貴	工学研究院・准教授	地震工学・建築情報学	季節変動性を考慮した人的被害評価手法の開発と防災・減災手法の構築
山田朋人	工学研究院・教授	水文学	・気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究 ・地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
安成哲平	北極域研究センター・准教授	大気環境科学・雪氷学	北極域及び周辺域における森林火災及びその大気汚染発生の要因分析と予測に関わる研究。また、これらの健康・気候・経済的影響についての分野横断的研究。
石川達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
渡部要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
橋本雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
谷岡勇市郎	理学研究院・教授	地震学・津波学	広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIに投稿する。
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
高橋幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築
方波見謙一	北海道大学病院・助教	救急医学	DMAT全国訓練参加(南海トラフ地震対応)、DMAT北海道訓練参加(千島海溝地震対応)
山口真司	CNHR・特任教授	地域防災・マネジメント学	複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関する研究

関係者氏名	役職・所属	専門
丸谷知己	名誉教授(北海道立総合研究機構・理事)	砂防学
小山内信智	客員教授(政策研究大学院大学・教授)	砂防学
奥野信宏	客員教授(名古屋都市センター長)	公共経済学
今 日出人	客員教授(株式会社ドーコン)	地域防災学
岡田成幸	客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター、アジア航測株式会社)	地震防災計画学(建築系)
室田哲男	客員教授(政策研究大学院大学・教授)	危機管理法政策、消防・防災・減災政策、危機管理法制
佐野寿聰	研究員(アジア航測株式会社)	—
村上泰啓	研究員(北海道開発局)	—
原田和子	事務	—